

2026 年 8 月 3 日

会社名 大同メタル工業株式会社
代表者名 代表取締役会長 兼 CEO 判治 誠吾
(証券コード 7245、東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 経営企画ユニット長 大倉 康裕
(TEL 052-205-1400)

大同メタル工業株式会社、メキシコの生産拠点で データセンター向け発電機用エンジン軸受の生産能力増強投資を決定 ～北米顧客との生産コミットメント契約締結に基づく 40 億円規模の新工場建設～

大同メタル工業株式会社(以下、当社)は現在、2025 年 5 月に策定しました中期経営計画のもと、2030 年度に売上高 1,700 億円、営業利益率 10%を目標 KPI として、企業価値の向上に取り組んでいます。その施策として、成長領域投資へのキャッシュ配分を高め、2030 年以降を展望したビジネスモデル変革に本格始動しています。

斯かる中、当社は成長領域のマリン・エネルギー事業におけるデータセンター向け発電機用エンジン軸受(以下、データセンター向け軸受)の需要増加に対応し、このほど、北米のディーゼルエンジンメーカーとの間で、メキシコ合衆国における当社軸受生産拠点「大同メタルメキシコ S.A. de C.V.」(以下、DMM)の生産能力増強を含む生産コミットメント契約を締結いたしました。これはデータセンター市場が近年世界的に拡張を続ける中で、その発電機用エンジンの需要の増勢に対応する当社顧客の増産方針を受けたものであり、当社は 40 億円規模の工場・生産設備を増強し同エンジン向け軸受を増産する当面の態勢を整えます。

生成 AI の急速な普及などによるデータセンター市場の拡大に伴い、データセンター向けの電力需要は 2035 年には 2023 年対比で約 2 倍になるとの予測も示されています。こうした中で、電力供給の停止を回避しなければならないデータセンターに常備される非常用発電エンジンの需要が引き続き増加しているほか、北米地域ではグリッド電力(注)不足を背景とした常用発電エンジン向けの需要も伸びています。

当社は、本生産コミットメント契約のもと、2027 年度までに 40 億円規模の資金を投じて DMM の既存の敷地内に新たに工場建屋を建設し、その後生産設備を新たに導入します。建屋は本年秋を目途に着工し、2028 年の生産開始を予定して増産態勢を整えます。本件により、当社のデータセンター向け軸受のグローバルな生産能力は、現状比およそ 1.5 倍に拡大します。

なお、本件は、本年になって顧客からの要請に応じて検討を進めたものであり、当社が 2025 年 5 月に発表した「中期経営計画 Bridge to Daido 2030」の内容には含まれていない、追加的な投資となります。

当社は本件データセンター向け発電需要増に対応した設備投資により、2025 年実績に対し 2030 年には、中高速エンジン向け軸受の売上高は全体で約 1.6 倍、うちデータセンター向け軸受は約 4.8 倍の事業規模となる予定です。データセンター向け軸受を含む中高速エンジン用軸受は、北米のみならず日本・アジア・欧州などでの潜在需要が見込まれるほか、将来的な脱炭素燃料を活用した次世代エンジンへの対応にも資するものであり、2030 年以降の新たなビジネス機会を捉えることも可能と判断しております。

中期経営計画で大同メタルグループが目指す姿“世界唯一の総合すべり軸受メーカー”として、すべり軸受技術のポテンシャルを新たなビジネスに繋げ、企業価値の創造に努めてまいります。

(注)グリッド電力：電力会社等が発電し、送配電網を通じてユーザーに供給される電力。

工場拡張の概要

所在地：メキシコ合衆国ハリスコ州(DMM の既存敷地内)

新工場建屋面積：約 14,000 m²(予定)

投資額：約 40 億円(予定)

生産能力増強規模：約 1.5 倍(グローバルベースの現状比、データセンター向け発電機用エンジン軸受分)(予定)

生産開始時期：2028 年(予定)



DMM(現在の外観)

[お問い合わせ先]

大同メタル工業株式会社 総務センター

TEL: 052-205-1400

E-mail: ccmg@daidometal.com

[関連情報]

当社について：

当社は、1939年(昭和14年)の創業以来、自動車、船舶、建設機械、一般産業向けなど、多種多様な産業分野で使用される「軸受(ベアリング)」を製造・販売している「総合すべり軸受メーカー」で、日本、北米、欧州、アジア、中国の5つの地域において、生産・販売・研究開発体制を構築しています。

自動車のエンジンに使用される半割軸受では世界シェア約 39.6%、大型船舶のエンジンに使用される軸受では同約 66.8%といずれも世界トップシェア、またデータセンター向けなどに使われる発電機用のエンジンに使用される軸受では同約 27.9%と世界上位シェアを有しています。(シェアは2025年暦年ベース/当社推定)

以上

Bridge to Daido 2030 from 2025 to 2030

データセンター向け軸受需要増への 対応について

ここから
世界を
動かそう。

Contents

1 成長ドライバーとしての中高速エンジン用軸受

2 中高速エンジン用軸受の売上高予想

データセンター向け軸受には当社の中高速エンジン用軸受が使用されています。本資料はデータセンター向け以外にも用途拡大が見込める中高速エンジン用軸受中心に記載しています。
中高速エンジン用軸受は当社の開示事業セグメントでは「マリン・エネルギー事業」に含まれています。

1

成長ドライバーとしての 中高速エンジン用軸受

2026年5月12日リリース「中期経営計画の進捗と企業価値向上に向けた取組み」資料を一部抜粋し、今回の生産能力増強投資の背景などについて記載します。

1

1. 大同メタルグループの事業領域

成長ドライバー

販売エリアの拡大

アフター市場の拡大

環境規制対応範囲の拡大

EV車向け製品の拡大

生産能力の拡大

既存領域

当社製品名
用途

コア

パワートレイン事業

自動車エンジン用半割軸受

自動車

コア

マリン・エネルギー事業

低速エンジン用軸受

大型船舶

コア

ライフ事業

ポリマー軸受

自動車

セミコア

フロンティア事業

精密金属加工部品・アルミダイカスト

自動車

成長領域

当社製品名
用途

コア

マリン・エネルギー事業

中高速エンジン用軸受

中小型船舶・データセンター

ネクストコア

マリン・エネルギー事業

回転機械用軸受

ガスタービン・洋上風力

ネクストコア

ライフ事業

ポリマー軸受

空調・油機・航空機・介護

ネクストコア

その他事業

金属系無給油軸受

食品・宇宙

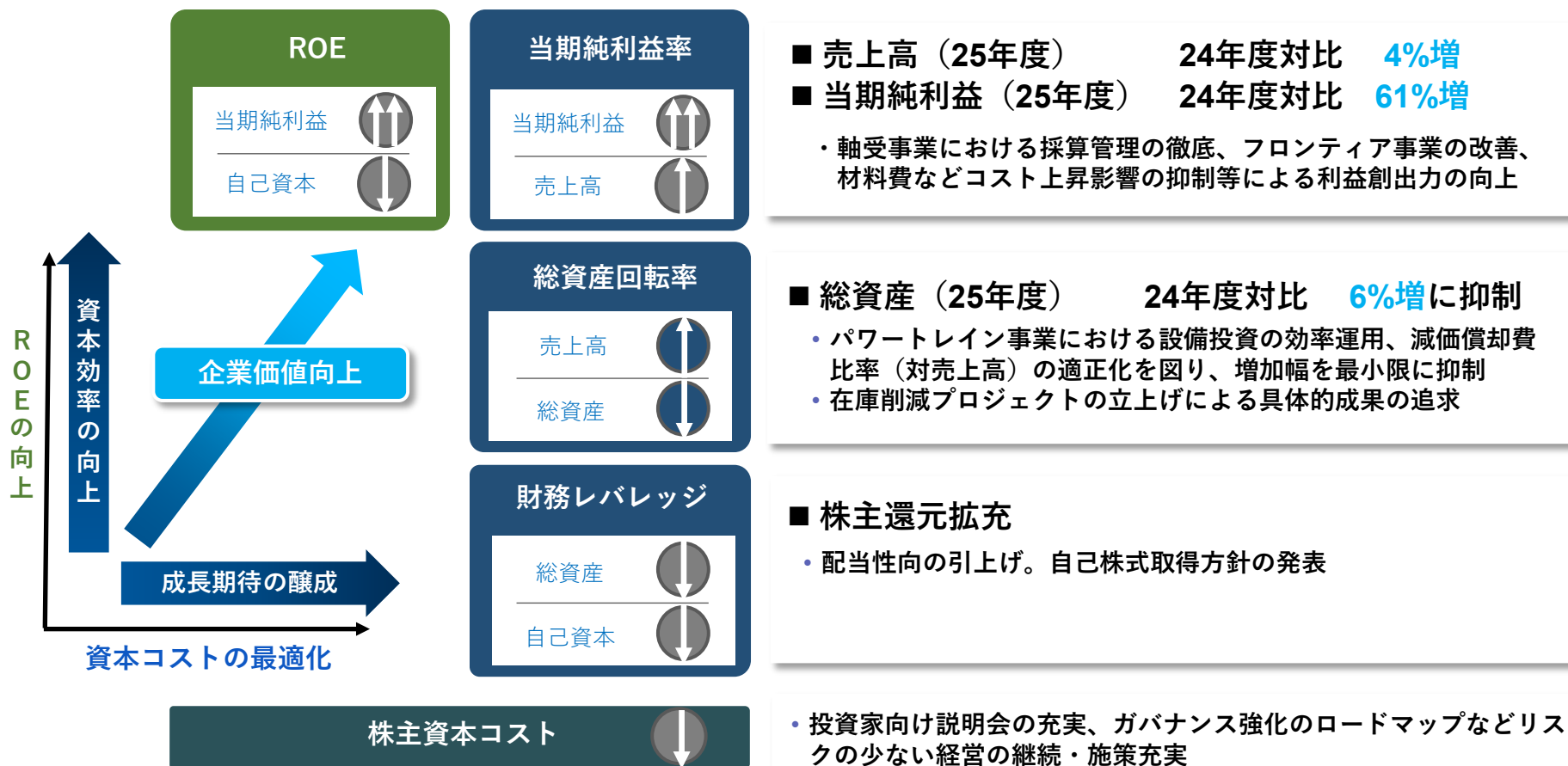
用途の拡大

技術スタッフの拡大

技術対応範囲の拡大

成長領域への経営資源配分で中長期的な当社事業優位性を確保

成長ドライバーを反映した取組みを通じ、売上成長と収益性改善を軸としたROEの向上及び資本コストの抑制を図り、企業価値の持続的向上・PBR改善を目指す



既存領域の構造改革と成長領域への積極投資による
収益力の強化とPBRの改善

船の発注



< 船主など >

日本郵船(NYK Line)、川崎汽船(K Line)、商船三井(MOL)
A.P. モラー・マースク(デンマーク)、MSC(スイス)
Evergreen Marine(台湾) 等

エンジン設計・製造

世界各国の
エンジン設計・製造メーカー
(未取引先含む)

< ライセンサー(低速エンジン) >

- Everllence(欧州) ● WinGD(欧州)
- ジャパンエンジン(日本)

< 日本 >

- 三井E&S
- ジャパンエンジン
- ヤンマー
- ダイハツIE 等

< 欧米 >

- Everllence
- Wartsila
- CATERPILLAR
- Bergen
- Fairbanks Morse
- Cummins 等

< 中国 >

- CSSCグループ
- Yuchai
- Hengli
- GDF/YUN
- CMP 等

< 韓国 >

- Hyundai
- Hanwha Engine
- STX Engine 等

発注

供給

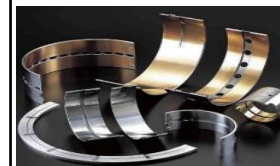
軸受製造



←材料等の技術提案

発注

供給



< 主な造船会社 >

CSSCグループ
現代重工業
今治造船
ジャパンマリンユナイテッド
名村造船所 等

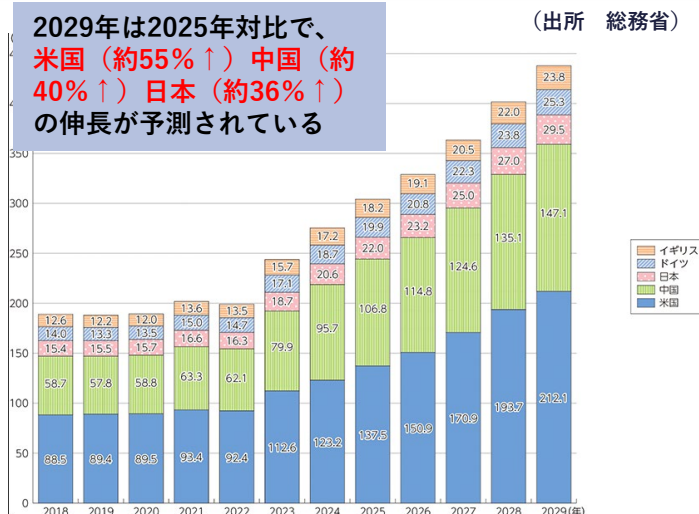
船舶用などのエンジン会社とのグローバルな取引

船舶種類	当社軸受が搭載されるエンジン	軸受使用個数 (気筒数は平均値で計算)
大型船舶 タンカー船 自動車運搬船 LNG船 コンテナ船 	主機用（低速エンジン）	44個/台X1台/隻 = 44個/隻
	補機用（中速エンジン）	26個/台X3台/隻 = 78個/隻
	 低速エンジン用軸受	計 122個/船1隻当たり 大きいもので直径1.3m級
中型船舶 クルーズ船 フェリー 内航船 	主機用（中速エンジン）	26個/台X2台/隻 = 52個/隻
	補機用（中速エンジン）	26個/台X3台/隻 = 78個/隻
	 中高速エンジン用軸受	両手の平にのる位のサイズ 計 130個/船1隻当たり
小型船舶 高速船 漁船 	主機用（中高速エンジン）	
	 中高速エンジン用軸受	計 26個/台X1台/隻



多様な船舶に使用される当社の低速・中高速エンジン用軸受

国別のデータセンター市場（売上高）推移・予測

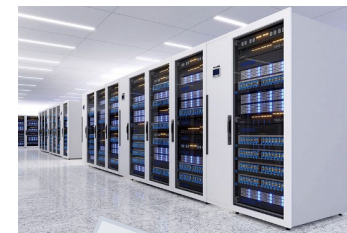


データセンターが増えている理由

AIやクラウドの普及

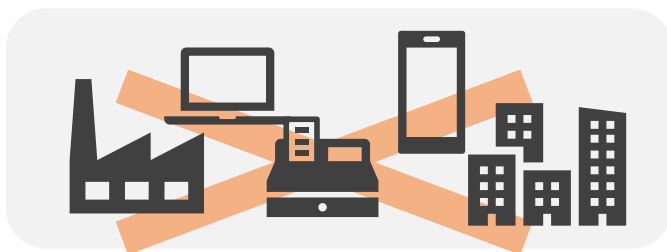


データセンター電力需要急増



24時間365日サーバーが止まらないことが最優先！
データセンターの増加に伴い、常用電源ならびにバックアップ電源（非常用発電）の双方において需要が拡大

非常用電源が必要な理由



停電するとサーバーが止まり、
企業のサービスや金融取引、
クラウドなど社会の基盤が一瞬で麻痺

データセンターに使用される当社軸受

非常用発電（データセンター・大型スーパー・ホテル等）
小規模分散電源



発電機



中高速エンジン用軸受

軸受使用個数は1台あたり50個程度（発電能力により変動、最大で数百台）。電力会社の供給が途絶えても自前で電力を確保し、システムを継続稼働させるための“最後の砦”として、非常用発電機が設置される

高まるデータセンター向け需要

1 6. 事業ポートフォリオ変革への取組み

セグメント別売上高構成比推移

パワートレイン事業以外

中高速エンジン用軸受はパワートレイン事業以外に含まれています

47%

61%

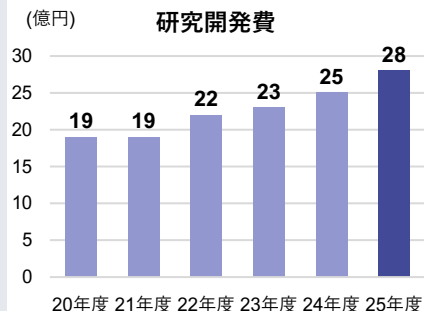
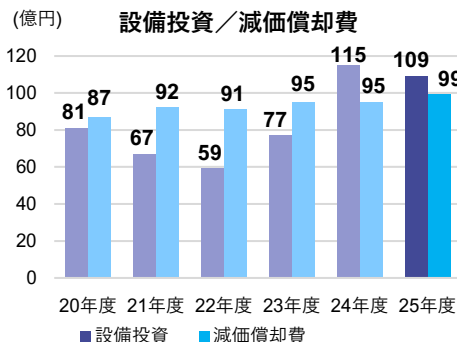
53%

パワートレイン事業

17年度 18年度 19年度 20年度 21年度 22年度 23年度 24年度 25年度

次世代領域への投資強化

より高い付加価値領域への積極投資により、次世代成長領域の収益化を追求



参入障壁の高い当社Onlyの立ち位置継続

独立系企業である強みを活かし高い技術優位性で幅広い顧客と取引を行い自動車エンジン用すべり軸受で高いシェアを継続

自動車エンジン用半割
すべり軸受世界シェア
(販売)
(2025年暦年ベース)

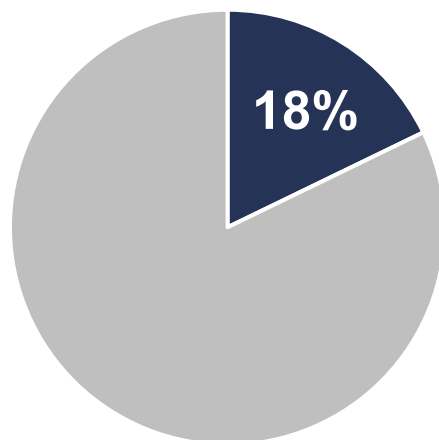
39%

取引自動車
完成車メーカー数
(2025年度連結)

26社

構成比率は縮小するが、BEV進行減速を追い風にコア事業として、規模の拡大も追求する

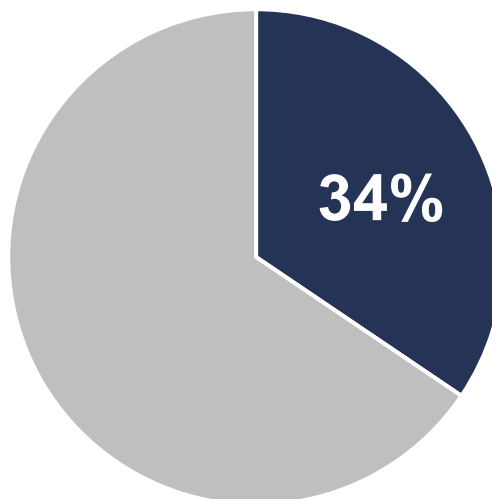
パワートレイン事業と共に 成長領域の投資による
事業拡大を志向

前中期経営計画後半
実績（2021～2023）

205億円

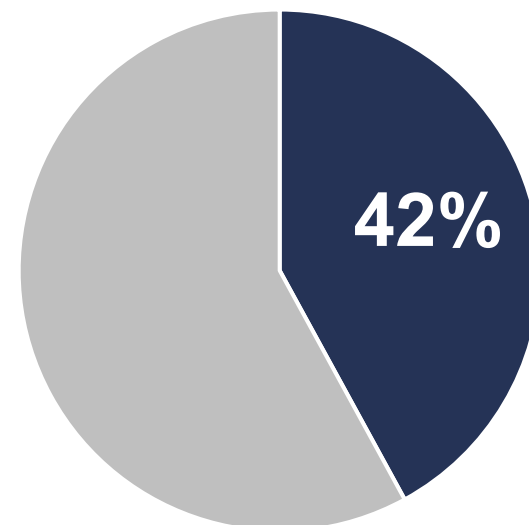
中期経営計画前半
計画（2025～2027、2025は実績）

2026/5 開示時点



305億円

現在(2026/8時点)



345億円

マリン・エネルギー事業

マリン・エネルギー事業以外

中期経営計画前半3年間（25年度～27年度）累計投資額ベース
で、8ポイント増加。成長領域への投資を拡大させます

自動車エンジン用軸受で培った技術

すべり軸受のスペシャリティ（技術多様性とお客様の多様性）

- ・「サイズ」「用途」「燃料」などの**技術対応力の多様性**
- ・多様なお客様とのお取引の中で培った技術

中高速エンジン用軸受で求められる技術

厳しい使用条件に耐えうる損傷リスクの低減

中高速エンジン用軸受で当社が選ばれる技術

高速エンジンに求められる焼付リスクの低減など多様な使用環境での耐久性
データセンター用軸受に求められる技術課題への対応力

自動車エンジン用軸受で培ったノウハウがお客様が求める
データセンター用軸受に必要な要件を充足

1 9. データセンター用軸受で当社が選ばれる理由 ②

■燃料多様化への対応力

- ・データセンターで使用されている中高速エンジンの燃料は、現在はディーゼル燃料（軽油・A重油系）及び天然ガスが使用されています
- ・環境にやさしい新燃料（水素等）では、耐腐食性の優れた軸受材質（表面処理含む）が要求されるが、耐食性に優れたアルミ合金への表面処理は特殊な技術が活かされています

ホワイト(スズ)系
軸受合金

アルミ系
軸受合金

銅系
軸受合金

やさしさ

強さ

やさしさ
(順応性)

なじみ性

非焼付き性

異物埋収性

強さ
(負荷能力)

耐腐食性

耐摩耗性

耐疲労性

金属系オーバーレイ
樹脂系オーバーレイ

アルミ系合金
銅系合金

鋼裏金

多様な燃料に対応できる軸受材料のラインナップが
お客様から選ばれる理由

25年5月
(中期経営計画策定時)

日本と英国の2拠点体制
2025年に日本拠点は新工場と新めっき工場を新設

環境の変化

データセンター向け中心に
中高速エンジン用軸受の将来需要がさらに増加

26年8月
(今回見直し)

メキシコに新工場を増設、グローバル3拠点体制へ

中高速エンジン用軸受の生産能力



25年度の生産能力を100とした
場合の30年度の生産能力イメージ

データセンター設置数の58%
を占める米国での対応を強化

(総務省データより当社算出)

当社メキシコ拠点



2

中高速エンジン用軸受の売上高予想

26年度は中期経営計画で掲げた目標達成のための通過点。売上高は中東情勢などによる自動車産業への影響が想定されるが、中長期的な事業ポートフォリオ変革実現に向け、ネクストコア事業の育成、マリン・エネルギー事業で牽引する

主要KPIの26年度目標

(単位 億円)	25年度	26年度
売上高	1,420	1,450
営業利益	83	95
当期純利益	43	50
営業利益率	5.9%	6.6%
ROE	5.7%	6.5%

為替レート 25年度：1ドル=156円 26年度：1ドル=153円

事業セグメント別の26年度目標売上高

(単位 億円)	25年度	26年度	
パワートレイン	744	737	自動車OEMはほぼ横這い予想
マリン・エネルギー	198	228	船舶需要などで26年度も堅調推移
ライフ	229	252	新規アプリケーション開拓などで、ネクストコア事業拡大を継続推進
フロンティア	228	219	一部受注減を北米需要回復で補完
その他	19	13	

為替レート 25年度：1ドル=156円 26年度：1ドル=153円

財務戦略

売上高

パワートレイン事業はほぼ25年度並みは維持させつつ、マリン・エネルギー事業とライフ事業が牽引して、売上高は25年度実績対比2%増の1,450億円を展望

営業利益

25年度迄の採算管理強化効果が奏功し、26年度も各種コスト上昇分を販売単価への反映に努める

事業戦略

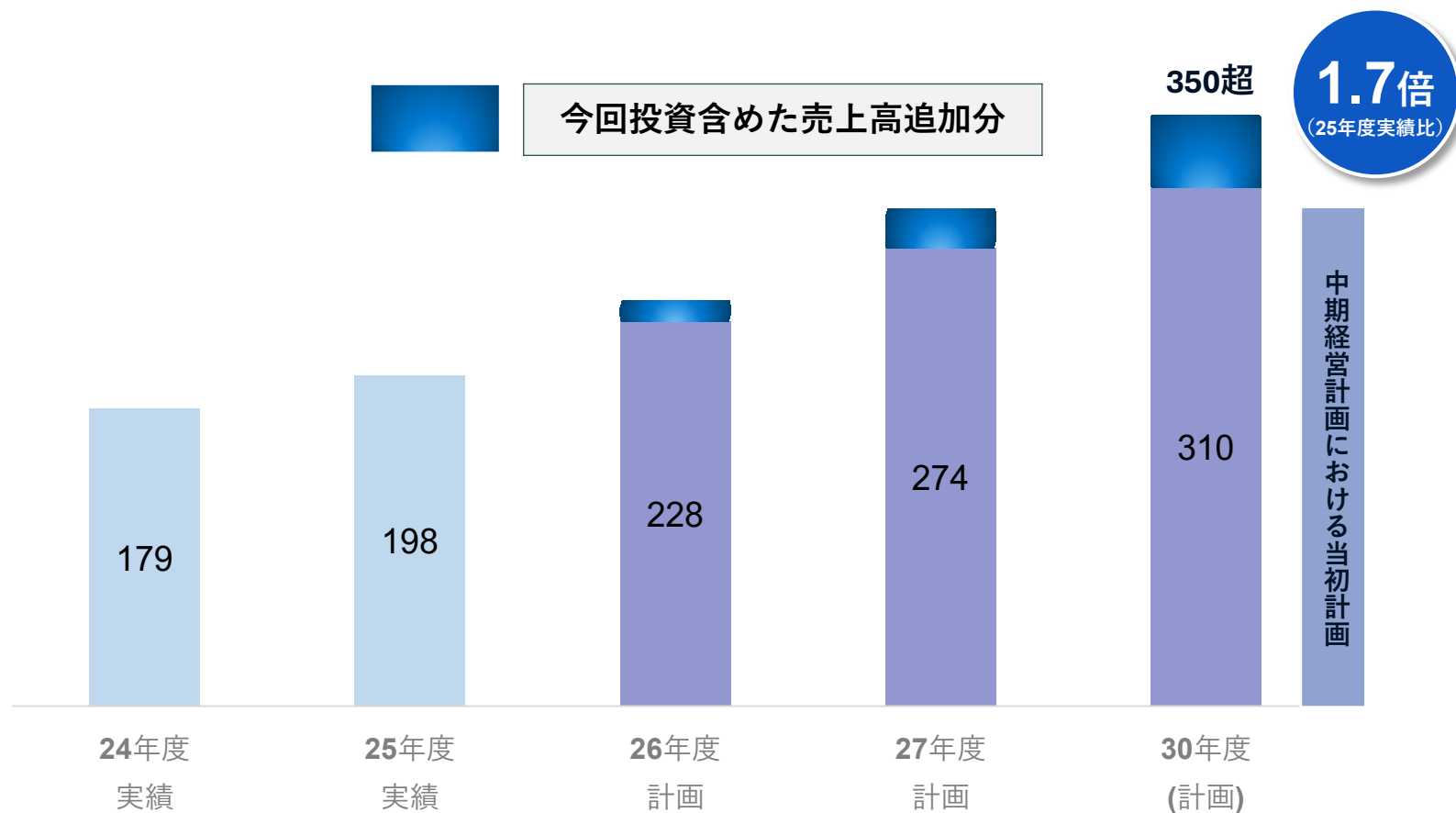
コア事業・セミコア事業の戦略

エンジン車回帰需要を確実に捕捉（パワートレイン事業・フロンティア事業）。高い需要が続く船舶向け低速エンジン・中高速エンジン用軸受への適切な対応（マリン・エネルギー事業）

ネクストコア事業の戦略

ライフ事業の空調・自転車パーツ伸長。重点業界・用途を絞った戦略的マーケティング

(金額単位 億円)



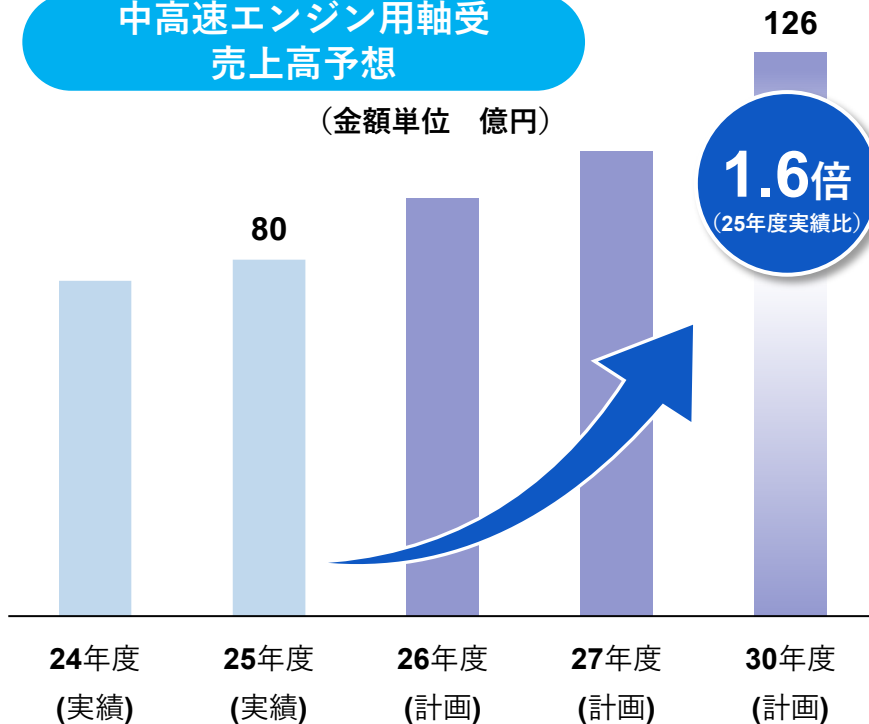
25年度売上高は198億円、30年度は350億円程度を予測

■30年度売上高予想

- ・今回投資により、中高速エンジン用軸受分野の30年度売上高は25年度実績対比1.6倍、データセンター向け売上高が4.8倍を想定。地域別では、北米向けは6倍強、日本向けは3倍程度伸長
- ・データセンター向け軸受を含む中高速エンジン用軸受は北米・アジア・欧州などで潜在需要が見込まれるほか、将来的な脱炭素燃料を活用した次世代エンジンへの対応にも資するものであり、2030年以降の新たなビジネス機会を捉えることが可能
- ・本事業に伴う営業利益は、30年度営業利益率目標に寄与できる水準を確保する見通し

中高速エンジン用軸受 売上高予想

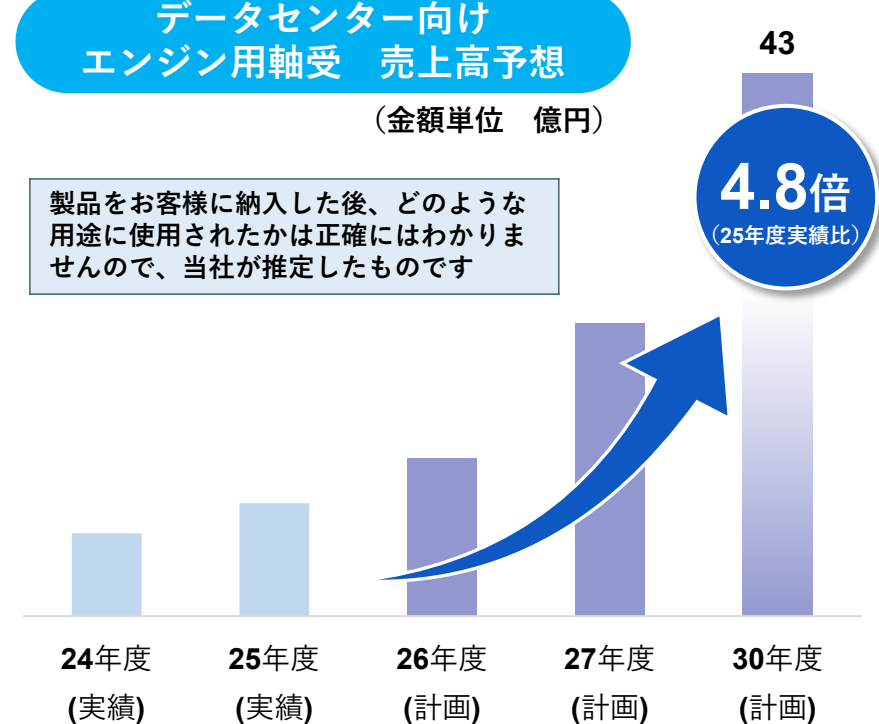
(金額単位 億円)



データセンター向け エンジン用軸受 売上高予想

(金額単位 億円)

製品をお客様に納入した後、どのような用途に使用されたかは正確にはわかりませんので、当社が推定したものです



株主の皆様へ

- ・当社グループの事業を支えてきた自動車産業のみならず、船舶業界含め、あらゆる業種・産業ですべり軸受の価値を高めるべく、目指すべき事業ポートフォリオに向かって、未来を開拓してゆきます

Supporting Your Movement.

あらゆる動きを支えて 豊かな暮らしに貢献する

Tribology

ギリシャ語「tribo（こする）」「logy（学問）」の造語。

ラテン語で **Tribos**

トライボロジーの英知を結集
当社が誇る最高品質の軸受

すべり軸受の
社会的価値
Ⅱ
大同メタル
グループの
存在意義

人類は摩擦と共に生き、あらゆる
場面で生じる摩擦とは
切っても切り離せない領域

1. 機械や構造物の寿命の持続性の維持
2. エネルギー効率の向上
3. 環境保全と持続可能性の実現

本資料には業績見通し及び会社方針や計画に関する記述は、各資料作成時点における情報や合理であると判断する一定の前提に基づいて作成しております。したがって、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績は自動車市場の変動、為替レートの変動、原材料や部品の価格変動、法規制や災害・感染症による影響も含まれます。なお、業績に与える影響はこれらに限定されるものではありません
本資料は情報提供を目的とするものであり、投資勧誘を目的としているものではありません
無断転載・複製することは禁じます

